

CMSC JOURNAL

Vol.10



東北シリーズ初戦を優勝で飾った
福土文秀/葛西一省組コルディア4WD
(CMSC青森)



半年ぶりのラリーで2位はお見事、小川日出生/小田切順之組コルディア4WD (CMSC山形)

スタート直前の笑顔、その後……。

'86JMRC東北チャンピオンシリーズ第1戦

第6回 田沢湖高原雪まつりウインターラリー (2月8・9日 秋田 250km)



斉藤伸二/佐竹浩文組コルディア4WD (CMSC山形)



高橋光男/崎山博行組コルディア4WD (CMSC福島)



足立琢/高橋修組コルディア4WD (CMSC福島)

'86全日本ラリー選手権に出場!

CMSC 青森
大西康弘

目標3位以内ノスノーinクレスト

このスノーinクレストから、また1年の長い戦いが始まる。僕はラリーアート・コルディア4WDでエントリーした。ナビは昨年羽豆選手のナビで活躍した田口雅生さんだ。コルディア4WDには1年ぶりで乗った。そのすばらしい成長ぶりに、まず驚いた。

しかし今年はちょっと雰囲気が違う。見渡すと4WDだらけ。噂のファミリア4WDが9台、レオーネ4WDが4台、サニー4WDが1台、そしてコルディア4WDが4台だ。同じCMSC青森の館山選手、福士選手、地元北海道の田中選手がコルディアを駆る。僕の目標は3位以内とコルディア勢でのトップだ。

1月25日(日)よいよスタート。昨年苦しめられた氷上SSから始まる。青森では氷が張らないし、氷上の経験も少ない、なんて言われてられない。SS1は大きなドジをしないように慎重に走る。トップとの差をみて、よしSS2は頑張るぞと思いつつ、これがいけなかった。進入速度を落とし、立ち上がりで稼がなければならないのが、逆のことはやりやりました。ポジションは低迷した。

そしてナイトステージ。田口さんに「コルディアの武器は優れた操縦性にあるからよく考えて走れ」との教をいただいた。さあ気分が盛り上がってきた。ナイトステージは11個のSSがあり、各SSでいかにコンスタントに上位のタイムをマークできるかにかかっている。SS3とSS4はワダチができていたので奇麗に立ち上がれるように走り、タイムはまずまずだった。ところがSS5で我々のクルーは目の前が真っ暗になった。半分走ったところ、前方が明るい。いやな予感がした。すれちがえない細い道に6台も止まっている。焦るノスタック車が脱出した時には、2分位が過ぎていた。次のCPまで6台のラ



全日本戦で活躍する青森三羽鳥、(左から)館山正嗣、大西康弘、福士文秀('85栗駒山アルペンラリーにて)

ンデブーだ。頭の中で一瞬入賞をあきらめたが「ラリーは何があるか判らない」と田口さんに励まされ、気をとりなおして走る。

2ステの最終ハイアベ区間で館山選手がコースオフ。コルディアは3台になった。2ステのトップは片岡ファミリア、2位はコルディアの福士選手、我々はさらに2分遅れていた。3ステで目標は10位以内に變更。各SSを落ち着いて走る。その間福士選手、田中選手共りタイヤ、コルディア1台となり、重い責任を感じながら走る。途中レオーネの加藤選手が道をふさいでいた。我々も止められたが、早いゼッケンの選手は大減点となった。望みがでてきた。

明け方のSSは今までになくスリッピな路面だったので足を取られないように目を2倍に開いて走り、無事ゴール。5位に入賞した。いろいろあったが、みなさんラリーは途中であきらめてはいけませんね //

氷上で決まった DCCSウインターラリー

第2戦DCCSウインターラリー、今回三菱車は僕と館山選手しかいない。昨年優勝しているの、今回もぜひと思ひス



今年も全日本で勝負ノ大西ノ田口組コルディア4WD(スノーinクレスト)



東北の実力No.1 ラリースト、館山ノ永沢組コルディア4WDの走り(スノーinクレスト)

スタート。コース上はまったく雪がなく、苦手の氷上でかなり成績が左右されそう。案の定下位に落ち込んだ。まったくいいところがない。ラリー区間は分計だし、SSは氷上を入れて6本しかない。また追う形になった。SS3はワダチの細い道、コルディア向きだ。トップと2秒差の3位。SS4、SS5の白糸ハイランドウェイ、ここはハイスピードコースでファミリアが速くて追いつけない。そして最後のSS6、ここはSS3と同じ浅間圏で、気合を入れてス

スタート。ところがシフトミスや姿勢変化の遅れが目立ちタイムが伸びないままラリーを終る。館山選手が頑張り6位入賞。僕は8位で幕を閉じた。

今後のラリーに全力をかけることを誓い、ウインターイベントは終わった。コルディア4WDはアンダーパワーを補う優れた操縦性を持っている。これを最大限に生かす走法を身につけて、ダートイベントで活躍したい。みなさん応援してください。

CMSC 帯広

第4回 コルト
氷上トライアル

4WD勢をおさえ、山コランサー優勝!

青沼達也

1月19日(日)、中川郡豊頃町豊頃沼で行われた、第4回 コルト氷上トライアル。長い直線とハイスピードコーナー、それにクランクや一本バイロンによる360°ターンを盛り込んだ1.5kmのコースレイアウトは、氷上とはいえFR車と4WD車でタイム差のない設定になっていた。しかし誰もがコルディア4WDとファミリア4WDの勝負を予想していたに違いない。この予想は1本目終了時では変りなかった。しかし2本目に入ったところで、360°ターンをビタリと決める完璧な走りで行った山口善則ランサーのタイムは、4WD勢の顔色を変えさせた。

結果、山口はトライアル初優勝。2位にはおなじみの青沼コルディア4WDが、そして3位に話題のファミリア4WDが入賞している。

当日はNHKを始めTV局3社の取材も行われ、本部席横には出店が並び盛況ぶりで、エントラント・観客共に楽しい1日をごしました。



大会あいさつ、佐藤光政会長(マイク)



寒さ、冷たさなんのその、走るの大好き
北海道ダートトライアル



4WD勢真っ青ノ山コランサーの走り

第4回 コルト氷上トライアル結果(NIIクラス)

クラス順位	車番	ドライバー氏名	車名	ベストラップタイム
1	29	山口 善則	ランサー	1'41'35
2	65	青沼 達也	コルディア 4WD	1'41'45
3	46	工藤 賢二	ファミリア 4WD	1'42'28
4	47	武田 栄一	シビック	1'42'34
5	26	馬立 浩二	カローラ	1'43'09
6	43	吉守 訓利	ファミリア 4WD	1'43'18
7	45	佐々木和雄	カローラ	1'43'21
8	37	菅野 孝	ファミリア 4WD	1'43'46
9	41	石崎 一彦	コルディア 4WD	1'43'86
10	75	高橋 直樹	カローラ	1'44'53



自然に笑い
……ベストラップ
山口善